

市民まちづくり活動を考える ワークショップ

<まちづくりワークショップ開催結果報告>

1. 開催概要

(1) 開催目的

第4期札幌市市民まちづくり活動促進基本計画の策定に向けて、団体の皆様が活動する中で感じていることや、課題解決に向けたアイデアについて意見交換を行った。

(2) 開催日時及び場所

2023年7月23日（日） 札幌エルプラザ2階 1・2会議室
10時00分～12時00分

(3) 参加者数

15団体（15名）

※札幌市所轄の特定非営利活動法人、札幌市市民活動サポートセンター登録団体、さぼーとほっと基金登録団体の合計1,613団体（重複を除く）に参加案内を送付し、31団体から参加の意向が示されていたが、当日の欠席が相次いで、15団体（15名）の参加となった。

(4) プログラム

	議題	時間
1	開会挨拶	10:00～10:02
2	札幌市市民まちづくり活動促進基本計画について	10:02～10:12
3	ワークショップの説明	10:12～10:15
4	アンケート集計結果の報告	10:15～10:25
5	参加者自己紹介（グループ内）	10:25～10:35
6	グループワーク	10:35～11:00
7	休憩	11:00～11:05
8	グループワーク	11:05～11:30
9	全体発表	11:30～11:55
10	閉会挨拶	11:55～12:00

(5) グループワーク内容

事前に行った団体向けアンケート結果の内容からもわかるように、団体の抱える課題感の高い問題として挙げられた、『収入・資金源』『人材の確保・育成』『連携・情報発信・インフラ(場所等)』の3つにテーマを絞り、ディスカッション形式によるグループワークを実施した

●グループ分け

A グループ/B グループ/C グループ 各5名

●各テーマについて

【収入・資金源】

事前の団体向けアンケートの結果より、活動資金の確保が最も多い課題であることがうかがえる。この課題に紐づき、助成金・補助金情報の収集に課題を感じている団体や、新規会員獲得に関する広報手段に課題を感じている、事業収入を増やすため知識を欲しているなど、現場の生の意見として、具体的にサポートが必要な項目を話し合う

【人材の確保・育成】

事前の団体向けアンケート結果より、各団体の代表年齢は70代以上が最も多く、次いで60代が多いという状況だった(2回答で全体の約72%)。課題に感じている項目でも『次期リーダーの育成』や『スタッフの確保』といった回答は非常に多く、直近の課題であるよううかがえる。

この課題に紐づき、活動を多く知ってもらうための広報手段や、リクルーティングの手段について具体的にサポートが必要な項目を話し合う

【連携・情報発信・インフラ(場所等)】

連携…

上記すべてに関係する内容として、各団体や企業との連携を促進し、人的・物的・金銭的課題の解消を行いたいところだが、どのように連携を行えばよいのか、どのような団体・企業との連携をしたら良いのかなど、実感の薄い感覚もある。連携事例を示したり、賛同・協働する団体や企業との出会いの仕組みなどが必要になってくる。

情報発信…

会員や寄付金の確保にせよ、人材の確保にせよ情報発信の手段は非常に重要な項目であるため、個々のHPやSNSでの発信も行ったうえで、サポートが必要なことについて話し合う

インフラ(場所等)…

まちづくり活動団体は、前提として営利を目的とした活動を行わないことから、オフィスやワークスペースなどの無料(または廉価な)インフラ(場所等)の充実はこれら団体にとって直接的なサポートとなる。

現状、どのような困りごとがあるのか、どのようなサポートが必要なのかについて話し合いを行う

2. グループワークにおける意見(主なものを抜粋)

【収入・資金源】

まちづくり活動の主な課題	必要な取組みや支援・制度
<p>(資金調達全般)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資金調達の手段に困る ・ 会費収入のみのため安定しない <p>(助成金制度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成金、補助金申請が大変 ・ 助成金、補助金の公募期間が短い ・ 人件費が加味されていない助成金が多いように感じる ・ 助成が1年しか使えないため、継続的な活動が行えない。数か月や1ヵ年のサポートでは不十分な活動しかできない ・ 助成金額の内容が活動の全額をカバーできるものではない 	<p>(資金調達全般)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業収入がないにも関わらず税金がかかってしまうため、税制の優遇措置などを図ってほしい ・ 活動資金だけではなく、経費等の細かなサポートをしてもらいたい <p>(助成金制度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業収入のある団体と、無い団体がいるため、事業収入のない団体に対する助成金・補助金申請の簡素化 ・ 申請のしやすさ（申請条件や使用用途に関する条件などの緩和、申請書類の統一など） ・ 数年にわたっての助成・補助・寄付などの仕組みを敷いていただくことによって安定的なサポートを受けたい ・ 助成金の使い道などについての相談窓口が欲しい ・ さぽーとほっと基金の団体指定寄付の申請期間（2か月前）をもっと短くして欲しい ・ 食料支援の食料購入を一定額認めてほしい

【人材の確保・育成】

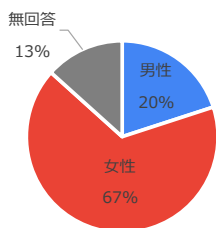
まちづくり活動の主な課題	必要な取組みや支援・制度
<p>(常勤・スタッフ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代表のひとり親方状態 ・ 後継者不在 ・ 代表を含む運営メンバーの高齢化 ・ コアメンバーの継続、固定 ・ 同じ志を持つ人との出会い <p>(臨時・ボランティア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア募集がうまくいかない 	<p>(常勤・スタッフ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常時動いてくれる人的なサポート <p>(臨時・ボランティア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア募集専用の掲示板(求人情報)サービスの様なものを展開してほしい ・ 登録団体が借りられる物販(イベント機材)と必要時に来てもらえる人(イベントに対応できるエンジニア)をレンタルできるシステムがほしい <p>(仲介)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マッチング支援や募集窓口、仲介支援のようなサポートが必要 ・ 札幌市が各まちづくり団体の活動内容を理解し、興味のある方の相談を受けたり、仲介や斡旋をしてくれる窓口を担ってほしい

【連携・情報発信・インフラ（場所等）】

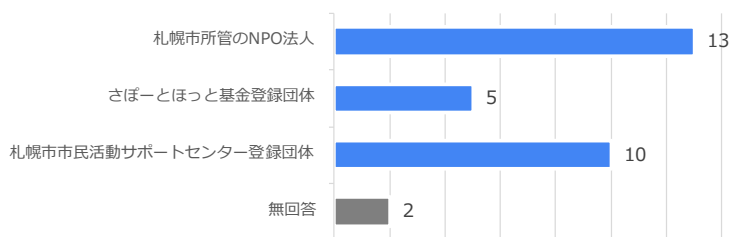
まちづくり活動の主な課題	必要な取組みや支援・制度
<p>(連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の NPO については、活動内容が重なる団体との連携が難しく、その反対に全く活動内容が異なる団体とはどのように連携すると相乗的な効果が得られるのかわからない。また、そもそも横の繋がりなどを持っていない団体も少なくない その他企業・学校・病院・自治体等他団体との連携については、出会いの場がない、機会がないため連携が難しい わからないことがあり自治体へ問い合わせを行った際に、質問に対する回答はあるが、それ以上のアドバイスや見解をいただいたりすることができない <p>(情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> SNS の運用が負担 発信方法がわからない 単一団体による HP や SNS の発信では、札幌全体のまちづくり活動を PR するという意味ではとても弱く感じる 	<p>(連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> NPO 法人の活動内容を発表したり、企業や学校法人と出会える場の提供 NPO 法人同士での異業種交流的な集まりの場を設けて、出会いを促すなど <p>(情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> SNS 更新の代行サポートなどが必要 活動周知イベント開催などのサポートを行ってほしい 郵送費用や庁内メールの利用などのサポート <p>(インフラ（場所等）)</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出できるセミナー会場がほしい <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> NPO の専門的な支援担当窓口を自治体に作ってほしい

3. 参加者アンケート結果

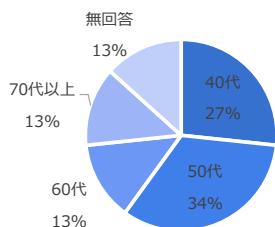
参加者性別



参加者所属区分（複数回答）



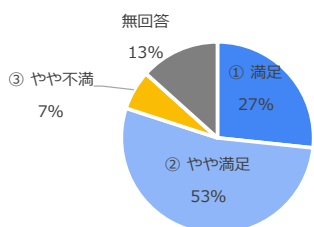
参加者年齢



ワークショップに参加した理由（複数回答）



ワークショップの感想

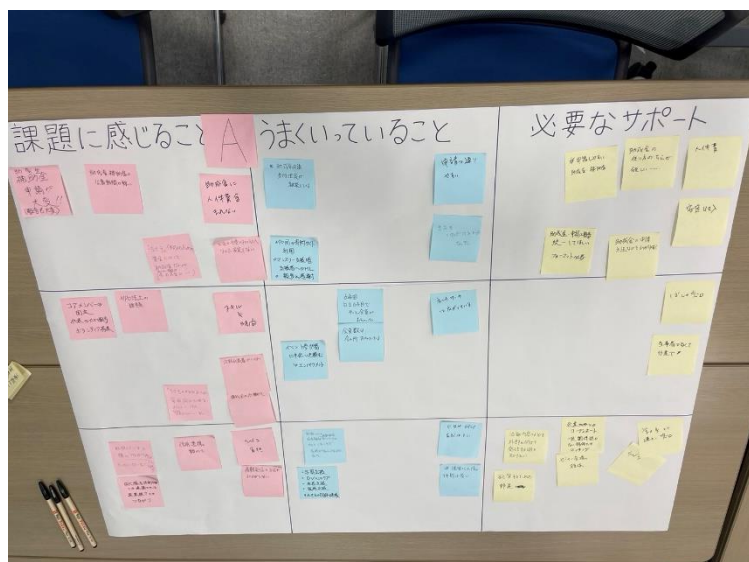


<ul style="list-style-type: none"> ・今日グループででた意見がどうなるのか？（発表者の発表内容ではなく、グループで出た内容） ・記録係として各グループにファシリはいたほうがよいと思った、たくさん話したい人の言葉はちゃんとのこしてほしい ・人数が半分少ない 札幌のNPOはこんなに少ない人で話していいの？
他の団体の情報をきけて良かった。年に一度位、他のグループとの交流の場を設けてほしい
登録団体が借りられる物販（具体的にはハイブリッドイベントの機材）と必要時に来てもらえる人（具体的にはハイブリッドイベントに対応できるエンジニア）をレンタルできるシステムがほしいです。年に1.2度のイベントのために用意するのは大変です。わがままですが、あったらイイナ！と思います。今日はありがとうございました。
もう少し話し合う時間（グループワークの時間）が欲しかった。
いろいろためになる話がきけてよかった。助成金に人件費が含まれると活動が広がるように思う。これからの活動はボランティアはむずかしいと思う
このようなNPOなどの交流の機会をもっとふやしてほしい。諸活動のPRが大切であることを痛感しました。
助成金は、是非人件費を含め、継続できる環境を作って頂けると嬉しいです。
あとは、札幌市さんにボランティア募集の窓口を積極的にして頂きたいです。SNSで発信し、参加に付加価値があるといいと思います。
ワークショップの時間、長めの設定が欲しかった
普段関わりのない団体と交流ができて良かった。
皆さん同じ様な課題をかかえていると思いました。さぼーとほっと基金の団体指定寄付の申請が2ヶ月前を短くして欲しい。人件費を入れて欲しい。食料支援の食料購入を一定額認めて欲しい。
私は障がいのある子もない子も同じ場で共に学ぶインクルーシブ教育の実現をめざす、市民団体の事務局をしています。障がいのある子どもの就学先として、特別支援学級や特別支援学校をえらぶ親が多く、札幌市の就学相談でも、そちらをすすめる傾向があります。
ですから、私たちの活動はなかなか、札幌市では連携していただくことができないのですが、親にいろいろな情報を提供することは大切かと思えます。よろしくお願いします。
一般社団法人設立について、札幌市と話して行きたい。どの部署に相談すればよいか。

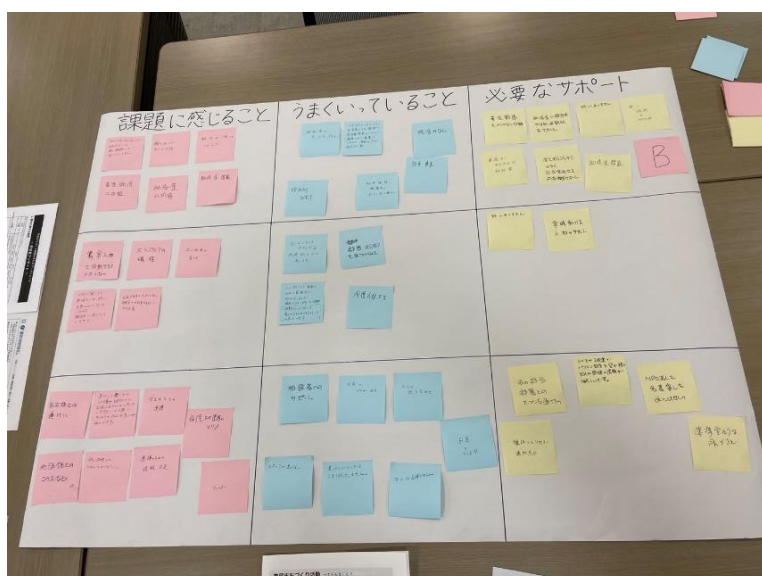
4 ワークショップ開催風景



[A グループ]



[B グループ]



[C グループ]

